

主な内容

- 2面 開かれた学校をめざして 中学校教科用図書の採択
- 3面 子どもの詩 生活指導補助者を派遣 中学校給食を開始
- 4面 イベントカレンダー

地域で支えよう 「町田っ子」の未来探し 中学校2年生職場体験事業



「町田っ子」は、いきいき活動します。

最近フリーターやニートなどと呼ばれ定職に就かない青少年の増加や、地域社会の人間関係の希薄化、青少年の社会参加意欲の低下などが懸念されています。このような状況の中で、身近な大人が真実に働く姿を目のあたりで見ることで、子どもたちの「生きる力」を育て、また子どもたちが個々の「生き方」を見つめる契機となることを目的としています。教育委員会では、町田市立全中学校の2年生約3000人を対象に9月に連続5日間、地域で働く職場体験事業を実施します。

日 時	2005年9月26日(月) ～9月30日(金) の5日間
対象生徒	市立中学校全20校の2年生 約3000人
場 所	市内外あらゆる事業所 *ただし中学生の発達段階 に応じた職種

事業所の皆さま
受け入れ先の職場が不足
ついでです

現在、市内事業所をはじめ関係機関・団体にも協力を要請し、受け入れ先職場を募集中ですが、まだまだ目標とする受け入れ先数に達していません。このため、生徒が興味・関心のある職場を自ら選べるよう十分な受け入れ先の確保を必要としています。そこで、是非とも幅広く皆さまの身近な職場での受け入れ申し出や、お知り合いなどで受け入れていただけそうな事業所のご紹介等、地域を挙げてのご協力をお待ちしております。

地域の皆さま方どうか職場体験事業に対するご理解ご支援をお願いいたします。
なお、左記URL(町田市公式ホームページ)には、詳しい説明が掲載されていますので、合わせてご覧下さい(受け入れ回答書もダウンロードできます)。
URL=<http://www.city.machida.tokyo.jp/>
町田市立全中学校教育指導課管理係
☎042-722-3111
内線3648)

「地域安全マップ」を 小・中学校で作成

不審者や交通事故から子どもの安全を守るために保護者と町田市立小・中学校が連携して地域の危険箇所や「子ども110番の家」の所在地などを盛り込んだ「地域安全マップ」を作成しています。児童・生徒が安全に対して関心を高めることができるようにイラストや注意を呼びかける言葉を工夫したマップを市内53校で作成しています。今現在、作成途中の学校もあります。

「地域安全マップ」とは

事件や事故が起きた場所、または事件や事故が起こるかもしれないと不安を感じる場所などの危険な場所や、事件や事故から身を守ることでできる場所などの情報を、地図に表したものです。

「目的」

児童・生徒が安全に対する意識を高めることができるよう、学校での安全指導に活用したり、自宅に掲示して注意を促したりします。
「こんな情報が載っています」
過去に事件や事故が起きたところ(不審者の出没など)

「こんな効果が期待できます」

危険な場所や安全な場所を確認しておくことで、子どもたちの事件や事故を未然に防止することができま。

「これからの活用として」

子どもたちが地域安全マップを活用することで、自分の町に対する関心と、防犯・防災・交通安全などの意識を高めます。
児童・生徒がマップに工事中の箇所等、最新の危険箇所情報を追記したり、マップを見ながら家庭で話し合ったりするなどの、一層の活用が期待されます。



「コミュニケーションの教室」が 開級

「通級指導情緒障がい学級」

小学生を対象とした、通級制初等の情緒障がい学級「コミュニケーションの教室」を、本年4月、成瀬台小学校に開設しました。

「コミュニケーションの教室」とは

情緒の不安定や社会性の未発達のため、対人関係や集団への適応に困難を示す、文字や計算など特定の分野に発達の偏りがある、などの児童に対して、小集団や個別的な指導を行うことで、いきいきと学校生活を送れるよう支援するための教室です。

全般的に知的発達に遅れのない、市立小学校の通常の学級に在籍する児童が、対象です。週1回程度、指定された曜日に、保護者同伴で通級します。

「コミュニケーションの教室」に入級するためには、「入級相談会」を受けていただき、入級相談会で入級の適否を判断します。入級の申し込みは在籍校で行いますので、担任の先生と相談して下さい。

就学前の児童については、就学相談会を受けていただきます。

所在地 町田市成瀬台2-5
2(成瀬台小学校内) ☎042-722-5354

さらに詳しくは、左記までお問い合わせ下さい。
町田市立全中学校教育指導課係 ☎042-722-2180

ご存知ですか、緊急通報装置「スーパー防犯灯」

若者の街として、内外に知られている原町田商店街には、毎日子どもたちや若者が大勢訪れます。しかし、こうした子どもたちなどを狙った悪質な犯罪が発生していることも事実です。そこで警視庁では犯罪を防止し、子どもたちも含めて市民が安心して買い物などができるようにと、緊急通報装置「スーパー防犯灯」15基を設置し、2月から運用を開始しました。スーパー防犯灯は、例えば子ども

もたちが事件や事故に巻き込まれ、また目撃したときなどに、緊急通報ボタンを押して通報してもらえます。ボタンを押すと赤色灯が点灯し、周囲に緊急事態が発生したことを知らせる非常ベルが同時に鳴り、さらに設置されて

いるテレビ電話によって、町田警察署の警察官と相互に通話が出来ます。また、必要に応じて警察官が現場に急行するなどして、事件・事故の処理に当たるシステムになっています。

スーパー防犯灯 操作面説明図

